



「変化への対応そして創造」

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
 住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 村岡俊宏

水と衛生月間

第 3267 回例会	No24	2021. 04. 14	曇り
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分 「日も風も星も」		
四 つ の テ ス ト	竹井崇利 君		
例 会 行 事	結婚・誕生者卓話 PART2		

会長時間

落ち着いていたコロナウイルスの感染拡大が広がりを見せています。緊急事態宣言の解除から 1 か月、一旦減少傾向にあった感染者数が大きく増え始めています。

県内でも、日向市を中心にクラスターが発生し、関連関係者が 1000 人を超すのではとの報道もあります。一人の感染者から、会合で一緒だった人、それらの人の家族、職場、学校の友達、その家族、または立ち寄った飲食店の従業員そしてその家族と限りなくつながりそして感染拡大していきます。

ウイルスの形態が進化して、より感染力や毒性が強くなり若年層 まで感染するようになってきています。新型コロナウイルスも生き物ですから、ワクチンに駆逐されないようどうにかして生き延びようとしているのでしょう。人類とウイルスの戦いです。

しかし、1 年前を見ているように思えるのは私だけではないと思います。このように感染拡大が進むと学者や医師が警告しても、政治家や 役人は聞く耳を持たずに感染状況が悪化していきます。思っていた以上に感染拡大が激しいと言われていました。

政治家や役人の第一の使命は、国民の生命財産を守ることとと思っていましたが、何か違うように思えてなりません。

最近、私の頭の中でよくこの言葉が出てきます。「古典の教養に立脚して今を生きよ」この言葉は、4 年前日南商工会議所 70 周年記念式典のゲストに おいでいただいた林修氏が話された言葉です。高校生に向けて言われた言葉だったのですが、妙に心に響きました。学生時代、古典の授業が退屈で、どうして古典なんぞを勉強するのかといつも思っていました。文体ばかり教えられて、内容などほとんど教えてもらわなかったと記憶しています。今思うともったいないことで、源氏物語をすっかり学びたかったと思います。

テレビなどで林先生の話の話を聞いていると、古典の奥深さ、面白さ、文章を読み解く楽しさが伝わってきます。このような先生に教えてもらおうと楽しく古典が学べたのかもしれない。残念です。

この「古典の教養に立脚して今を生きよ」という言葉を残したのは、大正時代に活躍した画家の「松岡映丘」という方で、林先生の祖父が 映丘の弟子でこの言葉をもらったとのこと。昔の知識を増やすだけでなく、その教養を自分が生き抜くために使いなさい」という意味だそうです。

以前お話ししましたが、100 年前のスペイン風邪を想います。今のような生活環境ではなく、医療もずっと貧弱だったので、世界で 2500 万人から 4000 万人の感染患者が発生し、日本国内でも 45 万人もの命が奪われたといえます。わずか 3 年間の流行で、同時期に戦われた第 1 次世界大戦の死者数約 1 千万人をはるかに上回る大災害となりました。

今のように文明、文化が進んだ世の中でもこの有様です。経済と感染症予防の両立といいますが、感染症は抑え込まないと流行を繰り返し、そのたびに経済は混乱する悪循環に陥るだけだと思います。歴史に学ばないとまた同じことの繰り返しになるのではと危惧します。

峰松君のインタビューによると、「ウイルスというのはより感染しやすいウイルスが生き残っていく。基本的には弱毒化していくはずだが、 まだその段階ではない。十代未満の感染者が増えている。子供を中心に広

がる事が懸念されている。もし子供から大人に広がった場合に重症化しやすいので一気に医療崩壊に進む可能性がある。第4波の始まりが変異株となると、今まで以上に急激に増えるだろう」と述べられています。

仕方ないと諦めるのは早計かもしれませんが、ついこの間年末から年始にかけても同じようなことをしています。とにかく我慢の時です。

皆さん、罹患しないよう、気を緩めないようお気を付け願います。

スマイル

田島逸男君 来たる4月18日は数字の語呂合わせで418「良い歯の日」です。口の中の細菌、特に歯周病原細菌を減らすことで、風邪やインフルエンザのウイルスが細胞へ付着することを阻害できることが数年前から明らかになっています。新型コロナの原因であるコロナウイルスもインフルエンザウイルスと同じ付着様式であるため、適切な口腔ケアは新型コロナ感染予防に有効です「良い歯の日」はこれらを含めてお口の清潔は全身の健康につながることを国民の皆様にご周知いただくことを目的に設定されました。今まで以上にお口の手入を励行して健康維持に努めてください

例会行事

結婚・誕生者卓話 PART2

石灘寛樹君（結婚）



本日は結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。

私が結婚したのは平成23年でしたので、今年で10年目、ネットによれば、錫婚（アルミニウム婚）式だそうです。なんか安っぽいですね。

さて、私たち夫婦のことを話しても面白くないので、前回に続き、まもなく成立（予定）の民法改正の件の続きをお話します。

不動産所有者が住所を変更したり、氏名の変更が生じた場合、名義人表示変更登記というのをする必要がありますが、この登記も義務化されます。これは、将来の所有者不明不動産の発生を未然に防ぐためというのがその理由です。

具体的には、所有権の登記名義人について住所、氏名の変更があった場合、正当な理由なくその事由の発生後2年以内に登記申請しない場合には、5万円以下の過料に処されます。ここでいう正当理由ですが、DV等で住所を秘匿しておく必要がある場合等を想定しているようです。具体的には省令通達によって定められる予定です。

また、現在、市役所で固定資産課税台帳というのが作成されていますが、今後法務局においても、これに類似の「所有不動産記録証明制度」が創設される予定です。

そのほか、改正点がありますが、またご報告させていただきます。

築瀬 敦君（誕生）



今年で、55歳になりました。四捨五入すると60歳、還暦やねと嫁に言われました。

日本国内で一般的に流通しているガソリンは、ハイオクとレギュラーがありますがオクタンの価はハイオクが100でレギュラーが90だそうです。

ハイオク車にレギュラーを入れるとノッキングを起こすこともあります。コンピュータにより大抵の場合普通に走ることができます。しかし、車が持っている本来の性能は出なくなります。いろんな制御は高性能エンジンを前提にして作ってあるので燃費も悪くなります。それにレギュラーを入れたらメーカー保証の対象外になるそうです。レギュラーに対応していないハイオク専用車もあるので注意が必要です。

日本自動車工業会は車に搭載されたコンセントからの電源供給について注意を呼びかけた。停電時に車から電源を取る場合家電製品が本来の機能を発揮できないケースがある。これは一般の家電製品の多くは自動車内や屋外での使用が想定されていないからです。走行中の振動や、車室内温度差などで作動不良や故障を起こすことが考えられます。

「精密なデータを処理する計測器」「極めて安定した電力供給を必要とする電気製品」では正しく作動しない恐れがあるということです。みなさん注意しましょう。ありがとうございました。

田島逸男君（誕生）



4月5日で古稀70歳になりました。人生の中で20歳（成人式）40歳（厄年）60歳（還暦）等節目の年がありますが、今回の古稀は本当の高齢者になってしまったのだな一としみじみと感じています。昨年来コロナ禍の中自粛生活を余儀なくされ70歳に向けての生き方を模索して多くの本を読んできました。

石原慎太郎（88歳）の19年前の「老いてこそ人生」、昨年執筆した「老いてこそ生きがい」どちらも自慢話につき才能と環境の整った石原氏と違い、凡人の私にはほとんど参考になりませんでした。その他弘兼憲史（72歳）の「老春時代を愉かに生きる」は老人時代が面白いと前向きなお話で一方勢古浩爾（72歳）の「古稀のリアル」は何が年を取って楽しいことがあるものかと言ったネガティブな表現の本でありました。

先週は池江璃花子選手の白血病を押しての水泳バタフライでの優勝、今週はゴルフ松山英樹の世界の最高峰「マスターズ」での優勝とスポーツ界での「努力は必ず報われる」とのフレーズが躍っています。

この言葉は幼少期から私の心に刻む言葉でありましたが、60歳半ばすぎるとフィジカル的にもメンタル的にも殆ど功を奏さなくなっていました。林修先生の「正しい場所で、正しい方向を向いて、十分な量なされた努力は裏切りません。」が正解で尚且つエジソンの名言「成功は、1%のひらめきと99%の努力である」裏を返せばひらめき（ツキ）がなければ努力は何の意味をなさないとのことであろう。これからもこれらの名言を頼りに1%の運を信じて希望を持って前向きに努力していきたいと思う次第です。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今週	33	3	30	24	3	3	27	90.00%
出席免除	村上、清水、小玉、							
先取MU	榎木田、菊池、石崎、							
欠席	齋藤(奈)、峰松、渡邊							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：村岡俊宏 副会長：豊田裕康 幹事：黒岩久登 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より

原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。